

科目名称	国外研修Ⅱ				ビジネス・キャリア	(○)	オフィス情報	(○)	
英文科目名称	Kokugai Kenshu II				グローバル・コミュニケーション	(○)	医療事務・医療秘書	(○)	
科目コード	531435	授業形態	実習	単位数	2				
教員氏名	横堀 仁志		年次配当	1年次	前期	ホテル・観光	(○)	大学編入	(○)
実務経験教員担当	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		アクティブラーニング		<input checked="" type="radio"/> 有・無				
授業概要 及び授業方法	<p>夏期に実施される「国外研修」に参加し、以下を行う。</p> <p>①ホームステイを通じて、研修国の生活様式や文化を経験し、学び、視野を広げる。</p> <p>②語学研修を通じて英語を学び、学んだ英語をホームステイやアクティビティで実践する。</p> <p>③アクティビティを通じて研修国の文化を経験し、学ぶ。また、現地学校訪問などを通じて日本の文化を紹介し、国際相互理解に貢献する。</p> <p>④帰国後、研修で学んだこと、考えたことを振り返り、考察を加えてレポートにまとめ、理解を深める。また、レポートの内容を「成果発表」としてプレゼンテーションする。</p>								
関連する科目	国外研修Ⅰ, 異文化理解, 異文化コミュニケーション論				卒業認定(学習成果)との関連	①, ②, ④, ⑥			
授業計画	<p>1～13. 初回授業で発表される国外研修実施内容及びスケジュールによる</p> <p>14. 成果発表プレゼンテーション：リハーサル</p> <p>15. 成果発表プレゼンテーション：本発表</p>								
授業時間外の学習	<p>①ホストファミリーとの生活を通じて現地の生活・文化に関する理解を深め、グローバルな視野を広げる。</p> <p>②研修中に学んだことや考えたことをレポートにまとめる。</p> <p>※現地滞在7日間の全ての活動(1日当たり8時間以上)を学習とみなす。</p>								
授業の到達目標	<p>①研修国の生活様式や文化について理解を深め、グローバルな視野を広げる。</p> <p>②日本の文化を英語で紹介できる。</p> <p>③研修国での経験をまとめて考察を加え、それを発表できる。</p> <p>④社会人として不可欠な自立心と行動力を身につける。</p>								
課題に対する フィードバック	成果発表プレゼンテーションのパフォーマンスに対し、口頭でアドバイスを含めたフィードバックを行う。	評価方法・基準		レポート課題(60%)、成果発表(40%) レポートは表現されている考察の深さを基準として評価する。成果発表の評価基準は到達目標に基づく。					
テキスト	使用しない								
参考書	使用しない								
備考	※単位認定科目である								